

★衣装の下に着るものについて

- ・パンツ・・・バレエ用のパンツは、薄く、ハイレグになっているので、衣装にひびかないものでベスト。衣装からはみ出なければ普通のパンツでもよいものもある。
- ・本番用ピンクタイツ・・・タイツは汚れたり破れたりするので、本番用に新しいものを用意しておき、ゲネプロ（普通当日に、本番通りに行く最後の練習）のあと、本番の前におろすと良いです。ゲネプロと本番のあいだに時間がない場合等、これに限りません。
- ・ボディーファンデーション（ボディファン）・・・ベージュ色の薄い下着で、レオタード型のもの。ふつうは、ピンクタイツの上に着ます。肩ひもが長い場合は、ひもの付け根を中に折りこんで、縫い付けます。背中の上部は衣装からはみ出ることがあるので、名前をここに書かない方がよいです。
- ・オーバーパンツ・・・パンツのついていない、ワンピース型の衣装を着るときに必要です。下着のパンツより厚く、ピンク色で、お客様に見えても遜色ないものです。衣装のすぐ内側、ボディファンの上に着ます。

★衣装をもらったら

- \* 衣装はバレエ教室もしくは衣装会社からお借りしているものです。それを忘れず、大切に扱きましょう。
- \* とくに、背中側のスカートの切れ目は、着用時に足を入れるときに破れやすいので、十分注意しましょう。
- ・ 小さな布に名前を書き、それを内側の、外から見えないところに縫い付けます。配布するためにつけられた、名前のついた紙などのタグがついていたら、はずします。
- ・ サイズを調整します。
- 1. 後ろのホックを付け足します。もともとついていないものは外しません。隙間があると、踊っている最中にホックが外れてしまうので、身ごろが身体にぴったり合うところにホックを作ってください。ホックの位置は、ボディファンを着用して計ってください。

ホック（ムシ）の作り方サイト

<https://www.youtube.com/watch?v=nxHYT5kTxBg>    <https://www.youtube.com/watch?v=Qcbg8UuCnig&t=60s>

2. 小さすぎる場合は、ホックの部分に布を足して縫い付け、縫い付けた布にホックを作ります。
3. 肩ひもが長い場合は、ひもの付け根を中に折りこんで、縫い付けます。

★衣装の保管について

大切な衣装は、傷ついたり、しわになつたりしないよう、保管にも気を付けてください。衣装は汗を吸うので、家に帰ったらすぐにハンガーに干します。汗がひどい場合や、しわができてしまったときは、霧吹きをかけて陰干し（室内）します。

★衣装の持ち運びについて

チュチュ（スカート）を折らずに入れられるサイズのカバンに入れます。防水が望ましいです。バレエショップに「衣装ケース」として売っています。衣装をひっかけたり破いたり、しわにしたりする可能性のあるものは、一緒に入れません。

衣装ケースに入れるときは、腰のところを上半身部分を外側に折り、さらにフックのある背中側を中にして縦半分に折って入れます。衣装ケースが縦長の場合は、折った部分を下にすると良いです。

★衣装を返却するとき

原状復帰してお返しします。

- ・ 名前の布をはずします。
- ・ ムシや肩紐など、自分で調整したものはすべてきれいにはずします。
- ・ 誰の衣装だったかわかるように、名前を書いた紙を挟むか、タグをつけておきます。

★その他

衣装をどこかにひっかけたり、汚したりしないために

- ・ 着用したまま座らない、飲食しない
- ・ 走ったり、遊んだりしない
- ・ 脱いだらすぐに衣装ケースにしまうか、ハンガーにかける。床に置かない。
- ・ 着用したまま、客席やトイレに行かない。

★シューズカバーについて

本番で踊る舞台には、リノリウムが敷かれており、これは原則土足厳禁です。そのため、本番で履くシューズを土足にしないよう、カバーする必要があります。バレエショップで「シューズカバー」が売っていますが、古い靴下等でもかまいません。舞台袖で、出番直前に脱ぎますので、着脱しやすいものを。

以上。